

logmiFinance

個人投資家様向けIRセミナー

2022年11月24日



内外トランスライン株式会社
プライム市場 9384

会社概要



内外トランスライン株式会社
設立
1980年



連結従業員数
661名※

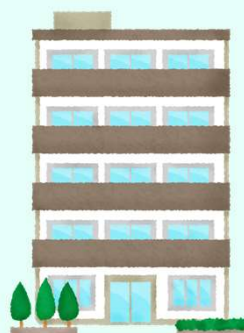


単体従業員数
217名※



2021年12月期
連結売上高
352億円

(2022業績予想 485億円)



国内事業所数
6拠点



国内
グループ会社
2社



海外
グループ会社
12社

※ 2021年12月末現在

事業種目

フォワーダー(利用運送事業者)

船舶や航空機を所有せず、船会社や航空会社からスペースを借りて利用し、国際輸送を行う事業者です。

そのなかで海上輸送を行う利用運送事業者を NVOCC (Non-Vessel Operating Common Carrier) と呼びます。

荷主様



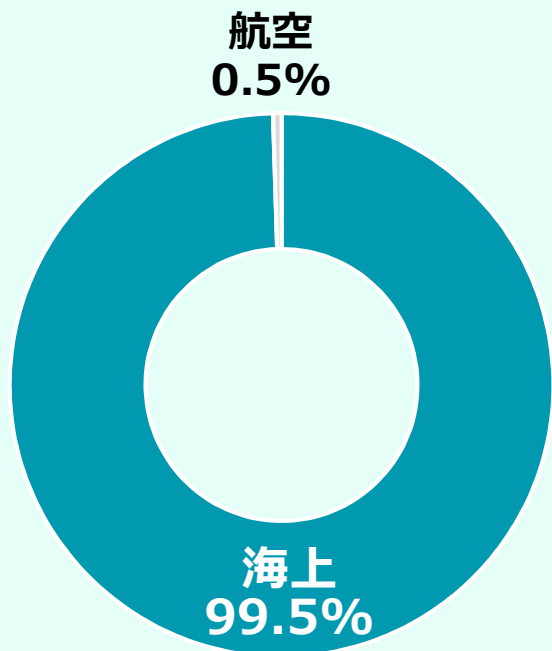
実運送業者



フォワーダーはお客様の輸送をコーディネートしています

日本にとっての海運とは？

日本の貿易に占める海上貨物



日本の貿易に占める海上貨物の割合は、
トン数ベースで99.5%(2021年)

海運は、島国であるわが国の貿易に
不可欠な輸送手段であり重要な
インフラです。

(出典：公財 日本海事センター/Shipping now 2022-2023)

海運は「輸送効率」の良いECOな輸送手段

1隻あたりのCO2排出量
(2000年→2020年)
▲25%削減



世界の荷動き量は増加しているものの「IMOが定めた燃費に関する規則」や
「各船社の輸送効率向上の努力(減速運行等)」により削減を実現

* IMO：国際海事機関(国連の専門機関)

<参考>

一日に日本のすべての港で取扱われるコンテナを
積み重ねると富士山の40倍の高さ(150km)に
なります

(出典：日本船首協会ホームページより当社にて作成)



コンテナ船とは？



船名：ONE MINATO

主要寸法：全長365.94m × 船幅51.2m

載貨重量：147,000 トン

建造年：2018年

ONE
MINATO
366メートル



新幹線
16両編成
400メートル



混載輸送 (LCL)の仕組み

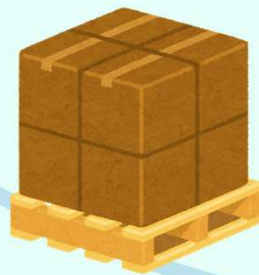


船会社への運賃支払は
コンテナ単位

コンテナに積載する
荷主数・物量が
収益機会に直結



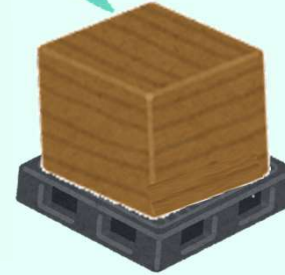
A社



B社



C社



D社

顧客への運賃請求は、RT*単位
効率良く積載することで売上額に直結

RT* 容積1m³または重量1tを1RTとして換算し、
いずれか大きい方を適用して運賃を算定する

LCL : Less than Container Load

出港時のコンテナ内

積載効率を上げることにより
環境に優しく、
当社の利益率向上にもつながります。



非効率な積載



効率的な積載



当社グループのビジネス



航空輸送



倉庫保管・
在庫管理



トラック輸送



コアビジネス
海上輸出混載輸送



海上フルコンテナ輸送



通関



梱包



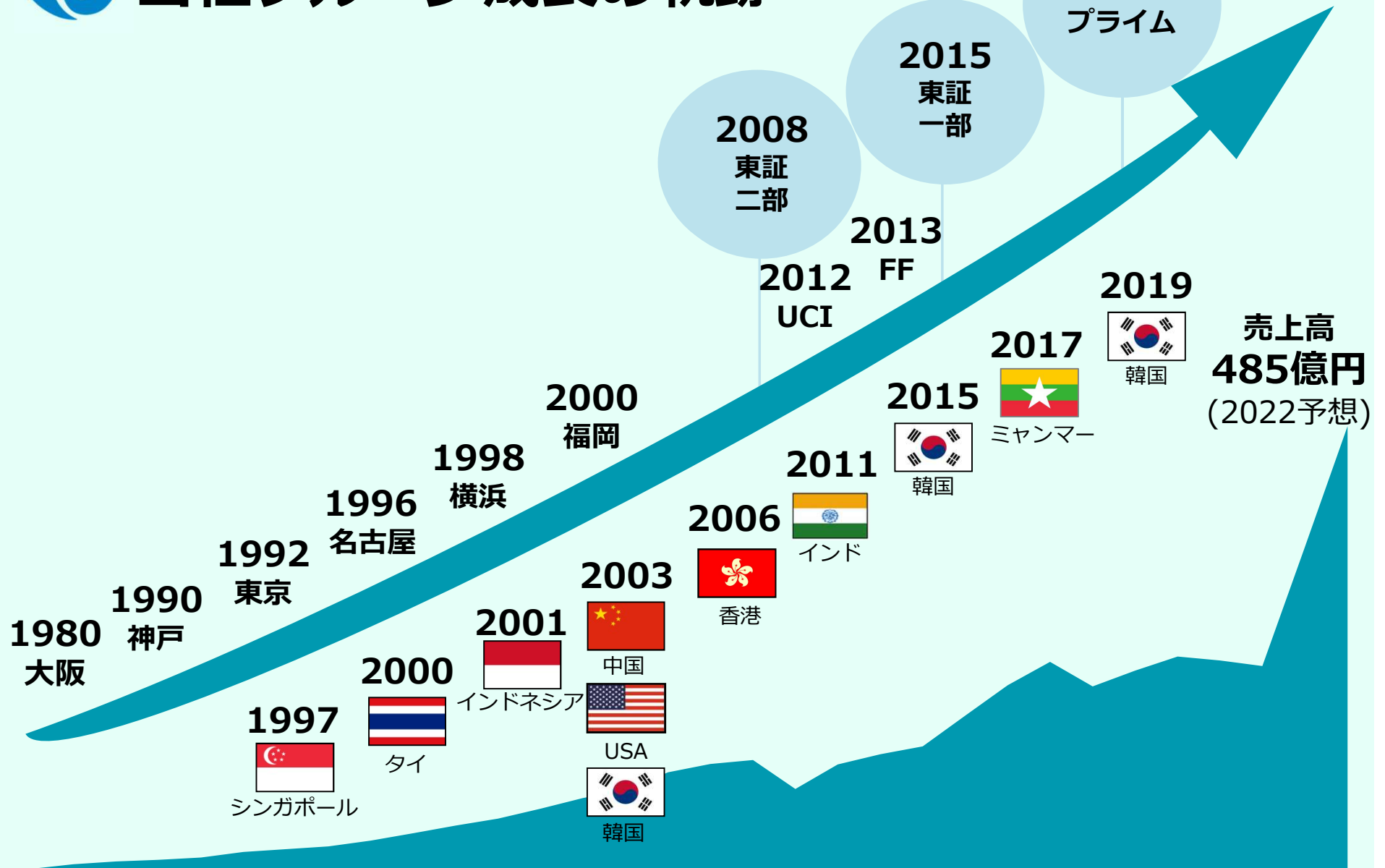
海上輸入混載輸送



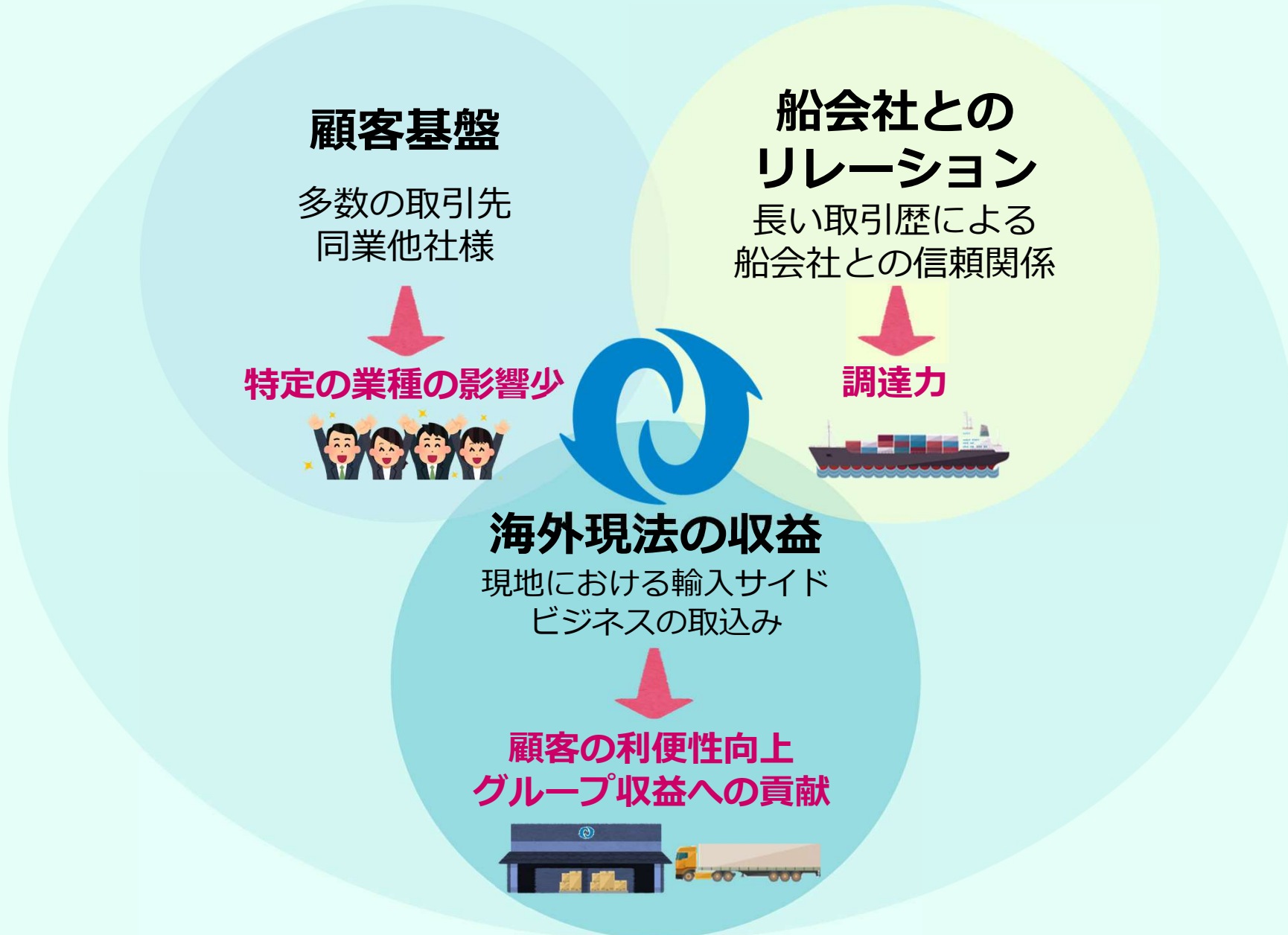
鉄道輸送



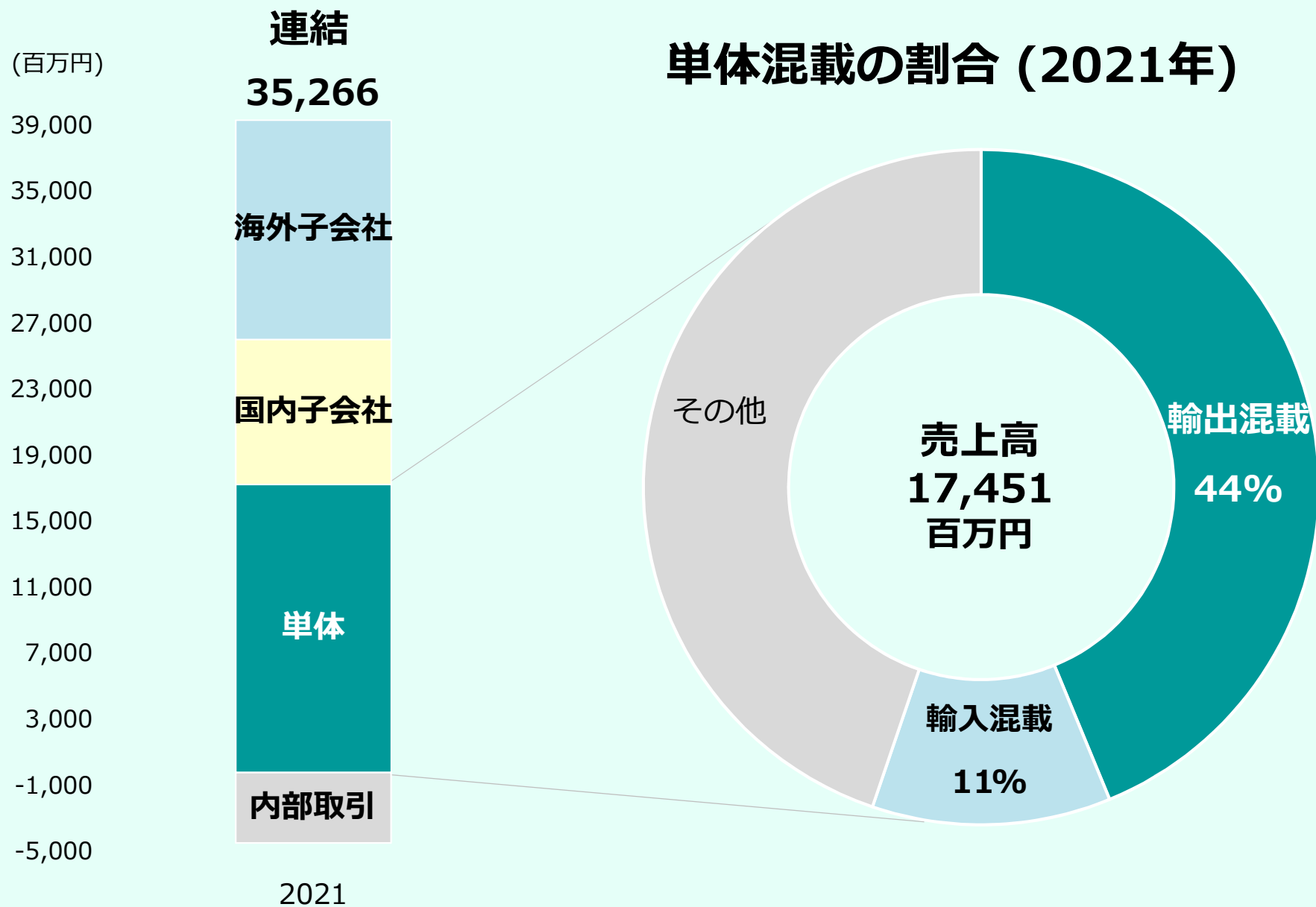
当社グループ成長の軌跡



強み1. 40数年間の輸出混載の実績

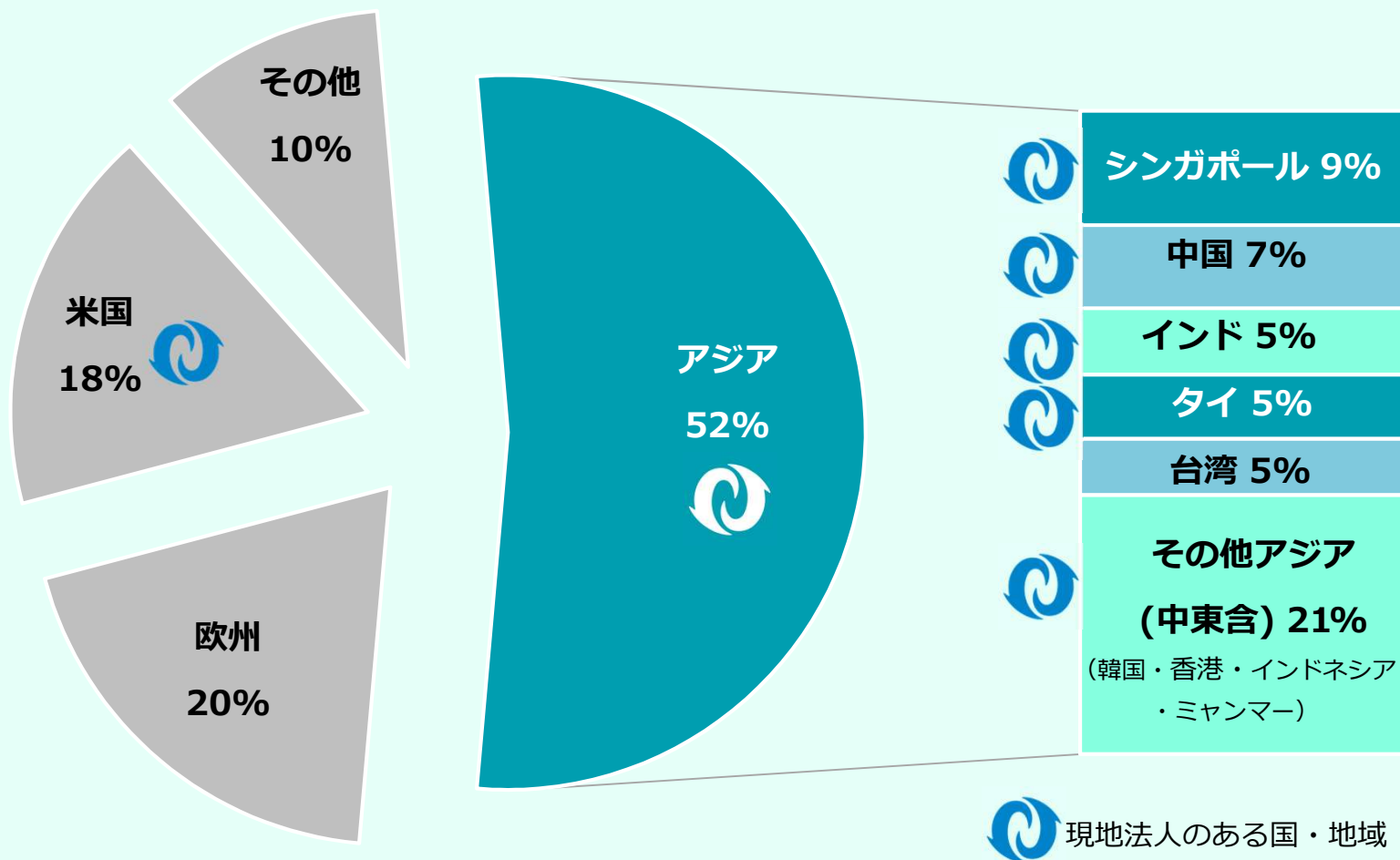


強み2. 収益性の高い海上輸出混載が主力商品

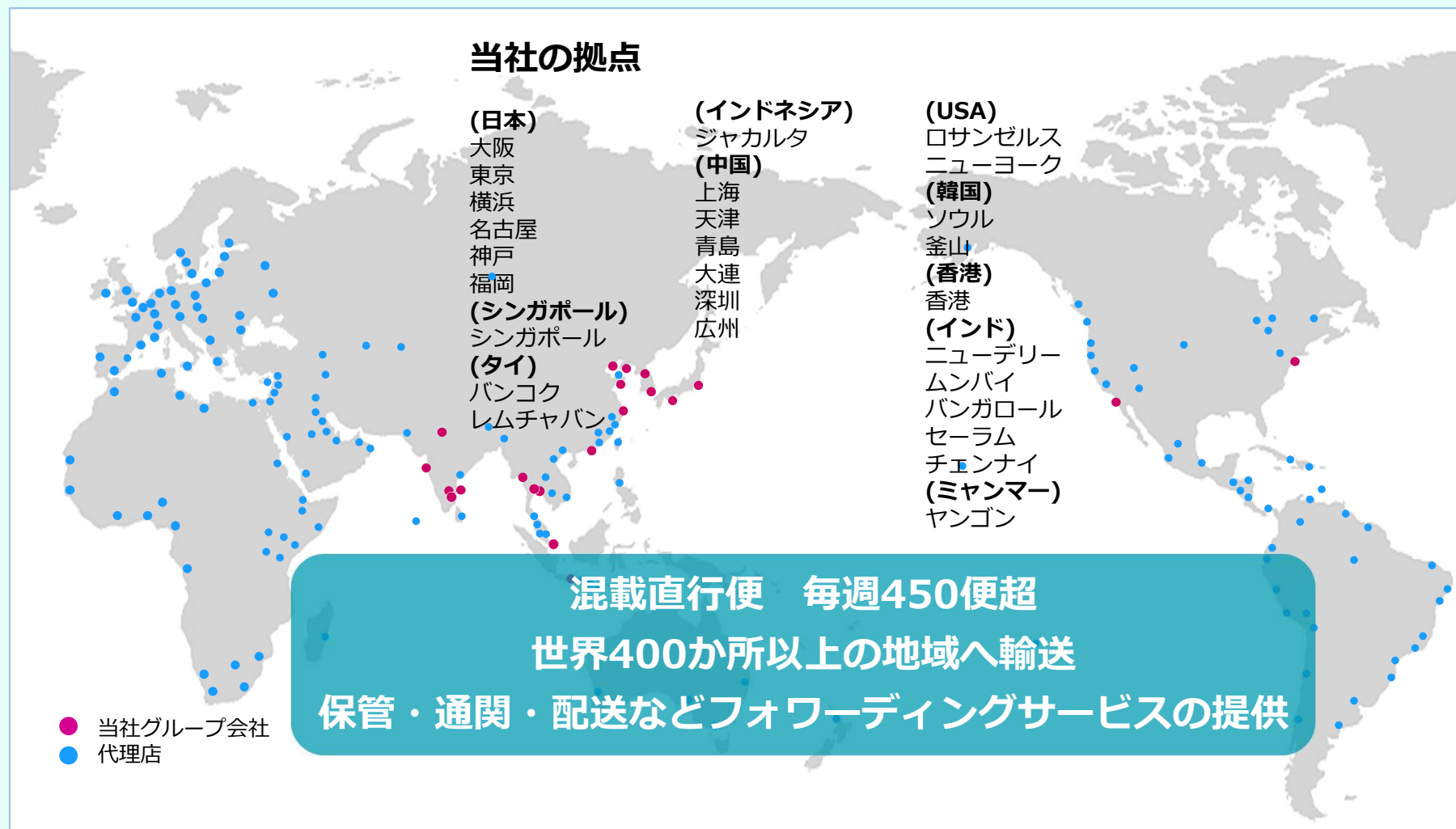


強み3. 成長を続ける アジア向け輸出が主力

単体エリア別輸出混載売上シェア（2022/3Q）

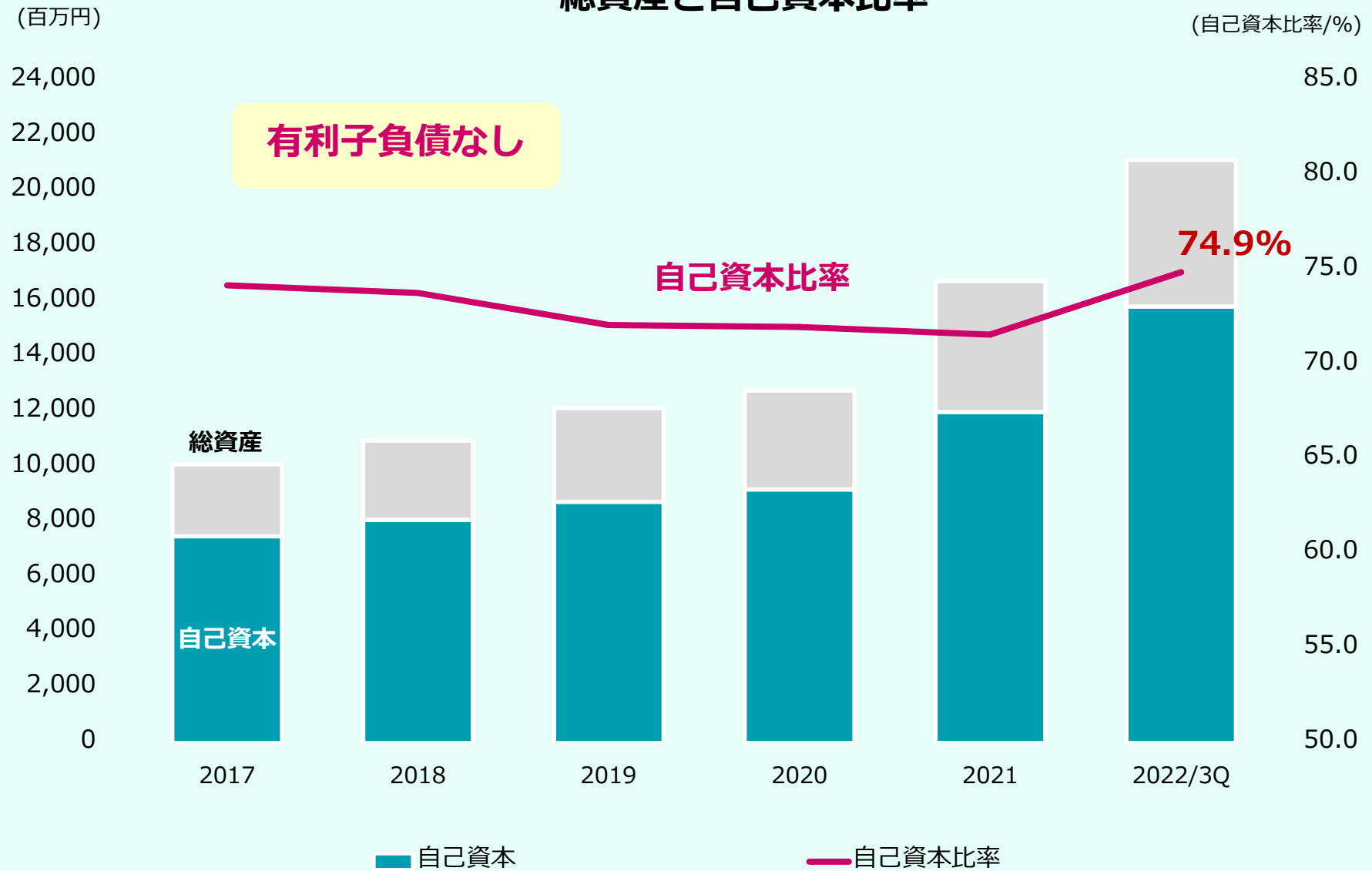


強み4. 世界に広がるグローバルネットワーク



強み5. 力強い財務基盤(連結)

総資産と自己資本比率




連結貸借対照表(2022/3Q)

(百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	17,259	流動負債	3,818
現金及び預金	12,784	買掛金	1,759
売掛金	3,473	短期借入金	0
固定資産	3,881	固定負債	664
建物及び構築物	3,159	長期借入金	0
		負債合計	4,483
		(純資産の部)	
		株主資本	14,750
		資本金	243
		資本剰余金	304
		利益剰余金	15,204
		自己株式	-1,002
		純資産合計	16,657
資産合計	21,141	負債純資産合計	21,141

自己資本比率
74.9%



連結実績(2022/3Q)

(百万円)

	2021/3Q	2022/3Q	対前年 増減率	2021	2022 業績予想 (10月28日)
売上高	24,507	36,179	47.6%	35,266	48,500
営業利益	2,647	4,982	88.2%	3,809	6,670
経常利益	2,738	5,311	93.9%	3,923	7,010
親会社株主帰属 当期純利益	1,880	3,640	93.6%	2,783	4,800
為替レート ¥/US\$	108.58	128.30		109.90	143.11

グループ業績ハイライト

単体

運賃や各種作業料の上昇に伴う当社売価の引き上げに加え、ドル建てである運賃を顧客には円貨で請求するため金額が増大し、増収増益。

国内子会社

＜ユーシーアイ＞
航空輸送案件の増加と大口設備の輸入案件獲得等により増収増益。

＜フライングフィッシュ＞
食品輸入のみならず積極的な新規取引拡大等により増収増益。

海外子会社

日本発着以外のサービスを強化。さらにフォワーディング案件を順調に取込み、増収増益。

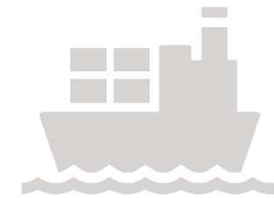


当社グループを取り巻く環境

物流業界の状況

<海上>

- コンテナスペースの逼迫は港湾状況が徐々に緩和。
- 海上運賃のは下落傾向にあり、どこまで下落傾向するかは不透明。



<航空>

- 旅客機下部の航空貨物スペース供給量は回復傾向。
- 航空運賃も下落傾向。

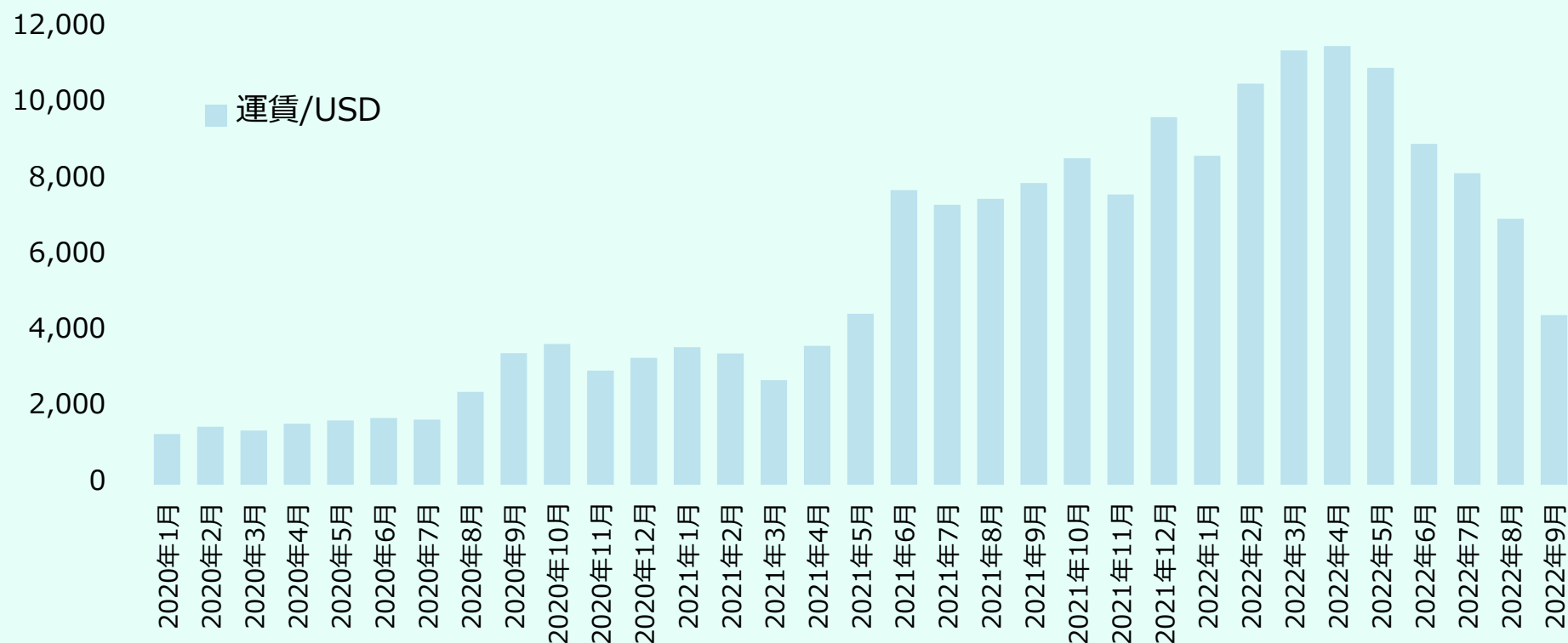


<為替（円安/ドル高）に対する業績への影響>

- 海上運賃はドル建てで決定されるため、円安は当社にとってはプラス要因。



北米航路月別海上運賃の推移(横浜/20ft)



横浜/ロサンゼルス航路コンテナ運賃動向

2022年10月26日

(USD)

年	サイズ	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2021年	20ft	3,620	3,450	2,750	3,650	4,500	7,760	7,370	7,530	7,940	8,600	7,640	9,680
	40ft	5,100	4,850	4,350	4,910	5,960	9,840	8,890	9,080	9,700	10,240	9,640	11,520
2022年	20ft	8,660	10,560	11,440	11,550	10,980	8,980	8,200	7,000	4,460			
	40ft	10,940	12,520	14,380	14,320	13,520	11,510	10,440	9,090	6,650			

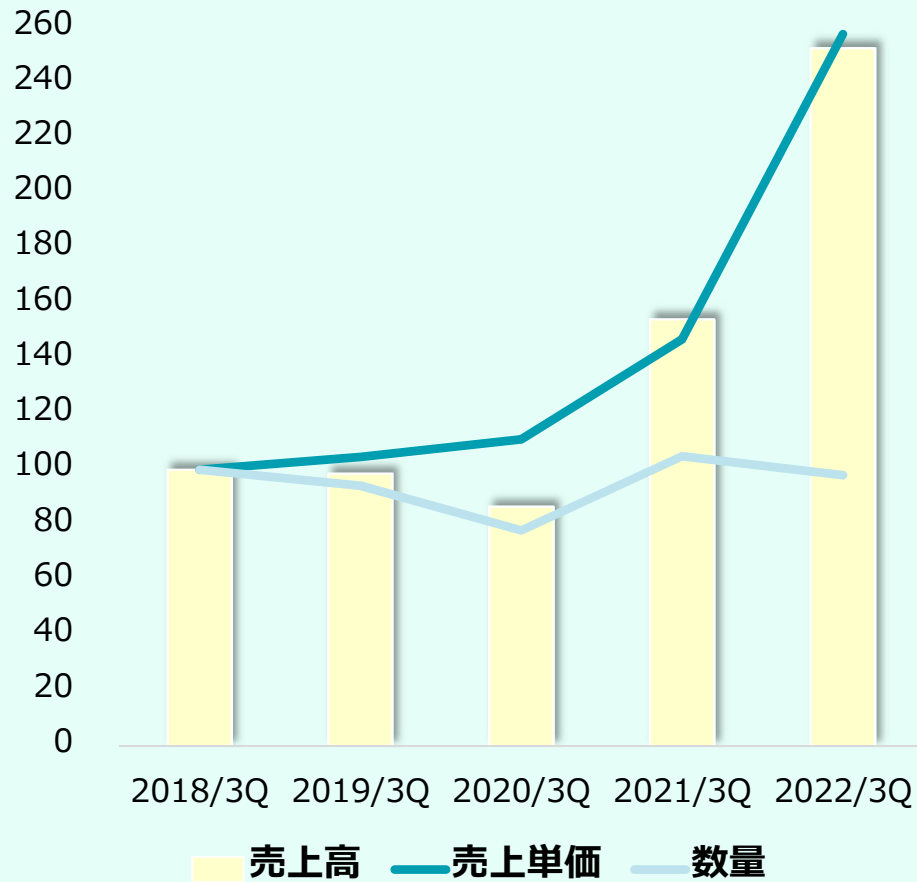
※(公)日本海事センター：コンテナ運賃動向資料を基に当社にて作成



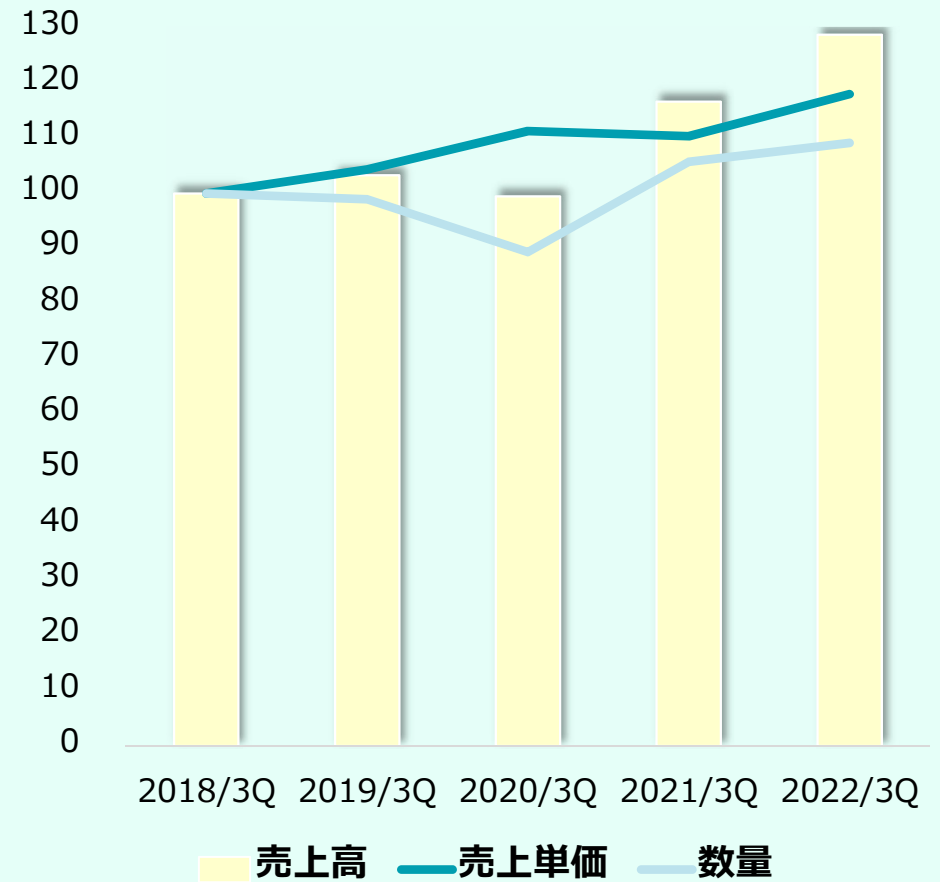
単体第3四半期混載売上高・売上単価・数量推移

※2018年3Qを100とする

輸出



輸入



第4次中期経営計画 重要経営指標(KPI)

	2022年目標	2021年実績	2022年業績予想
売上高	300億円達成	352億円	485億円
営業利益率	7.0%	10.8%	13.8%
ROE	14.0%	26.3%	34.5%

成長戦略① 事業領域の拡大

米国・香港・シンガポール

- ・食品関連のフォワーディング



タイ・インドネシア

- ・工業製品のフルコンテナ



日本

- ・フォワーディングチーム設置
- ・酒類販売免許を取得



韓国・インド

- ・韓国3カ所、インド12カ所の倉庫事業



中国

- ・中国国内での日系企業の商品を保管、配送



成長戦略② 営業スタイルの多様化

従来の訪問営業に加え、非接触型営業の強化・推進

- ・ デジタルパンフレットの充実
- ・ オンライン会議システムによる多拠点・遠隔地との商談
- ・ 当社HPから24時間アクセス可能な見積り・BOOKING機能



成長戦略③ 若手社員の育成と多様性

人材は最大の『資産』



人種や性別に
とらわれない人材登用

SDGsへの取り組み

当社は経営理念のもと
SDGsと行動規範を関連付け
グループ経営を推進しております
(経営理念・行動規範 2006年7月制定)



*内外トランスライングループは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

当社の行動規範(抜粋)とSDGs

私たちは高い倫理と協
調の精神を持って行動
します

当社
部長以上の女性比率
20%

- ・女性活躍推進
- ・シニア雇用
- ・育児・介護休業制度



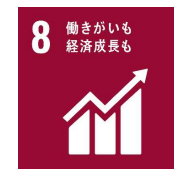
私たちは会社の仕事を
通じて社会への貢献を
果たします

- ・地域社会の発展・活性化・次世代育成
- ・環境負荷低減
- ・CO2排出量の算出



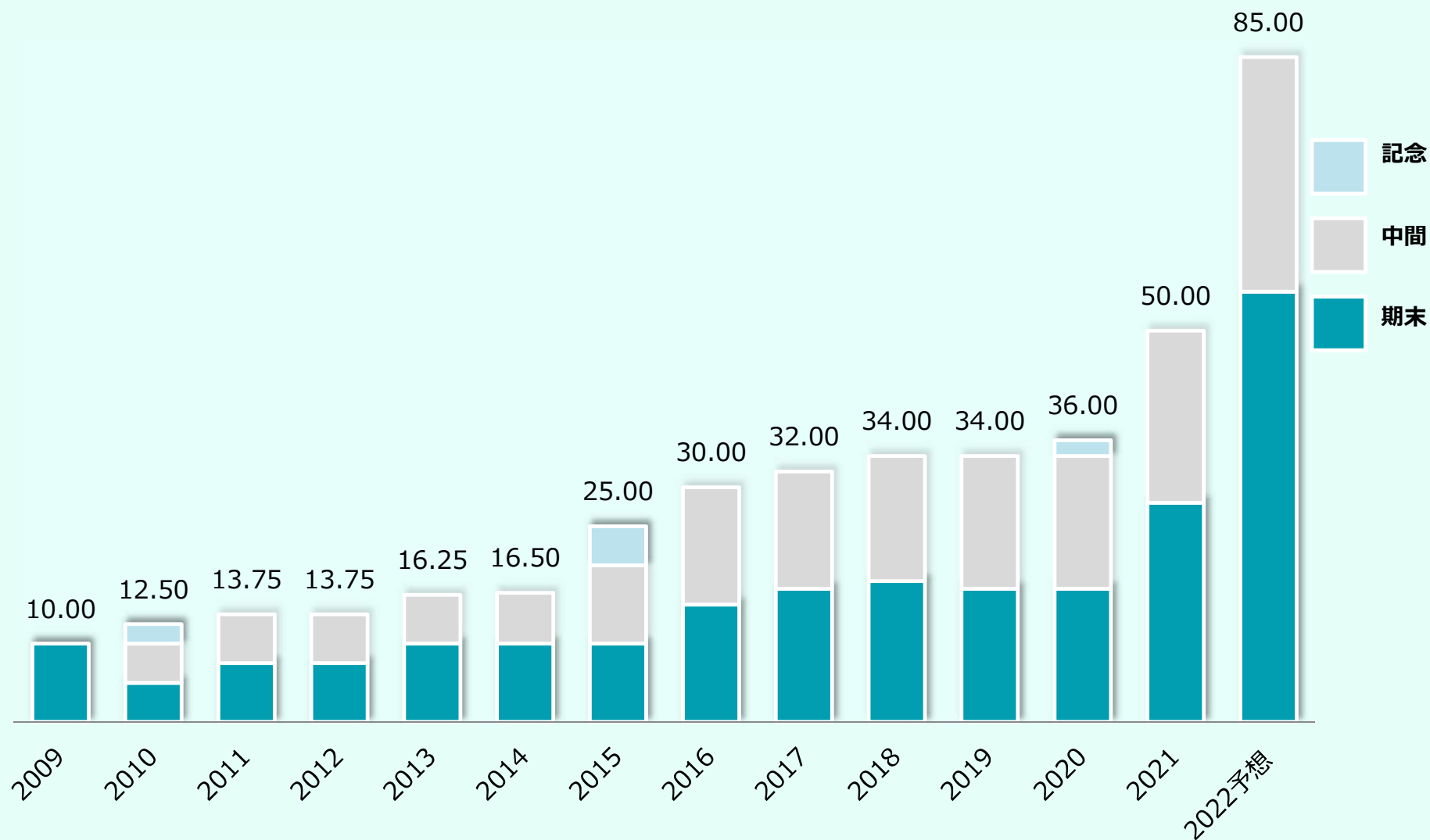
私たちはたゆまぬ努力
により自己の成長を図
り、社会を発展させて
ゆきます

- ・社会・経済の発展に貢献



配当金の実績と予想

(配当金/円)



※2012年と2015年6月末日を基準日としてそれぞれ1：2の株式分割を実施、上記金額は分割後配当額にて表示

(ご参考) 株主優待制度



対象株主

毎年12月31日現在の当社株主名簿に記載または記録された
下記保有株数に応じた株主様

100株~200株未満

カタログより1,500円相当の商品か日本ユニセフへの寄付を選択



200株~4,000株未満

カタログより2,500円相当の商品か日本ユニセフへの寄付を選択



4,000株~

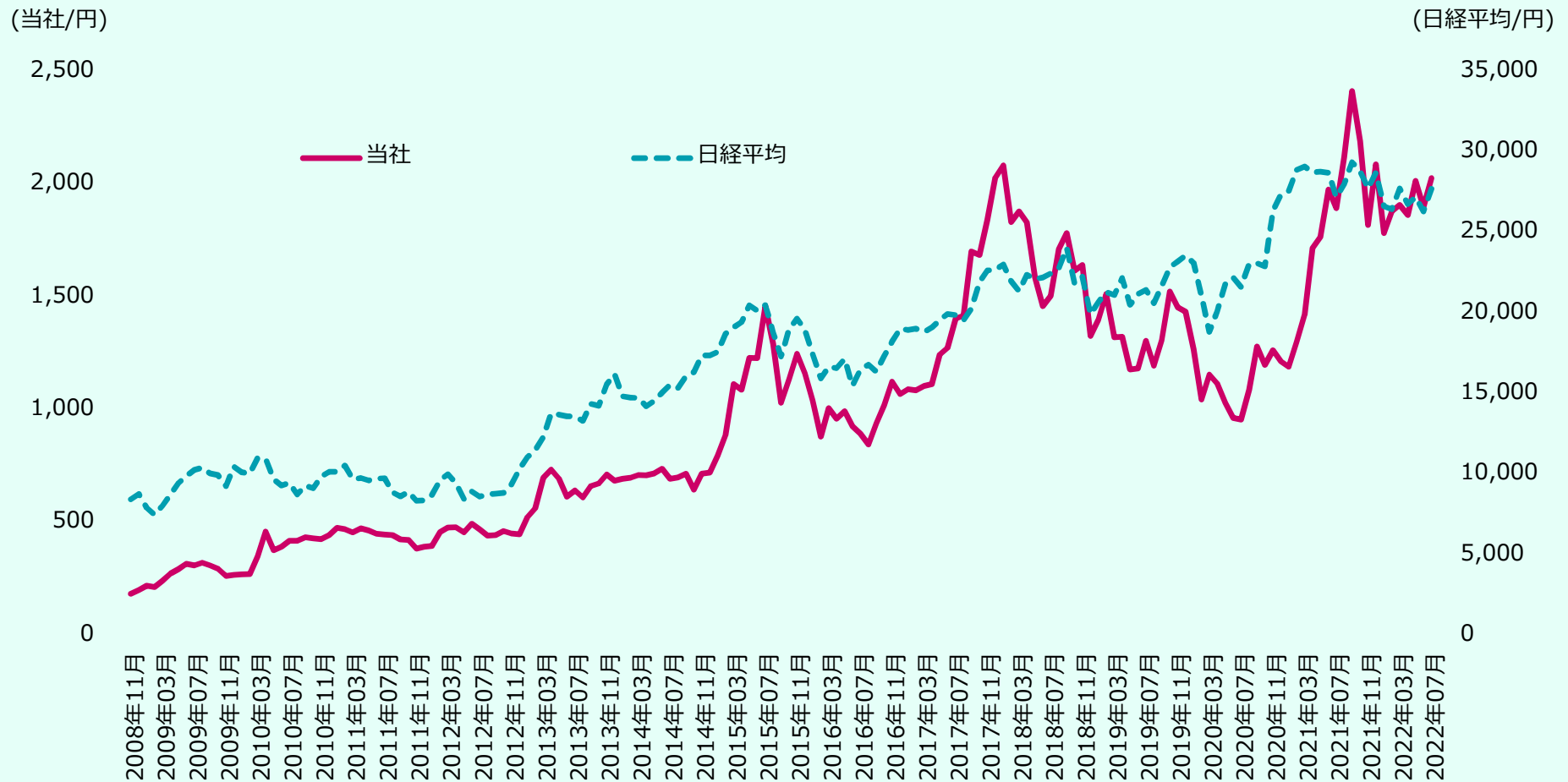
カタログより5,000円相当の商品か日本ユニセフへの寄付を選択



* 写真は2022年12月期株主優待カタログ掲載商品の一例



当社株価と日経平均の推移



* 2012年と2015年6月を基準日としてそれぞれ1：2の株式分割を実施、分割後の株価を基に算出

出典：Yahoo! JAPANファイナンスを基に当社作成（株価は月末終値）

株価	2008年11月	2022年10月
当社	190	2,060
日経平均	8,512	27,587



本日のまとめ

事業内容

1. コンテナ船を利用した国際海上輸送
2. 日本発輸出混載シェアトップ

強み

1. 40年以上にわたる**実績**
2. 収益性の高い**海上輸出混載**が主力商品
3. 成長を続ける**アジア向け輸出**が主力
4. 世界に広がる**グローバルネットワーク**
5. 力強い**財務基盤**

業績

成長戦略

1. 運賃の値上がりと取扱量の増加により3Qまで大幅増収増益で推移
2. 事業領域の更なる拡大に注力
3. 非接触型営業の強化・推進
4. 若手社員の育成と多様性

株主還元

1. 「株主への還元」は当社重要施策
2. 収益力を強化し配当の増加を目指す



ご清聴ありがとうございました



内外トランスライン株式会社
NAIGAI TRANS LINES

お問合せ先

取締役 IR担当 三根 英樹

本社 大阪府中央区備後町2丁目6番8号
サンライズビル5階

TEL 06-6260-4800

FAX 06-6260-4713

URL <https://www.ntl-naigai.co.jp>

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは既に具体化している事実を除き、本資料の作成時点で取得可能な情報に基づくものであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。そのため、実際の業績などは本資料に記載の見通しや予想とは異なる結果となる可能性があり、その内容を保証するものではありません。

